

グランプリ

まちづくりの一翼を担い 新たな価値を創出する露橋水処理センター

名古屋市

改築前の露橋水処理センター
（平成16年3月 全面改築工事着手）



改築後の露橋水処理センター（平成31年3月完成）



《魅力あるまちづくりに貢献》

施設の老朽化等に伴う全面改築に合わせて

- ①都心部に水と緑の憩いの場を創出
（**広見憩いの杜**の誕生）
- ②大規模開発が進む「ささしまライブ24地区」に
高度処理水を送水・多目的利用

「広見憩いの杜」誕生

①露橋水処理センターの上部に広大な空間を確保

- ・中川運河沿いの沿岸用地と市道を取得
- ・下水処理施設の地下化

上部の空間に約13,000m²を確保
（ナゴヤドームのグラウンドの広さ相当）

②コミュニティ（地域の皆さま）とともに作る空間



露橋検討委員会の様子



工事現場説明会の様子



地下施設見学会の様子



グランドオープン内覧会の様子

PRポイント!

【広見憩いの杜】

- ・平成17年度に**地域の代表者や有識者で構成される「露橋検討委員会」**を立ち上げ、まちづくりなど様々な観点から上部空間利用方法を検討し、空間利用のテーマを決定
- ・改築工事中も、空間利用方法などを意見交換し、整備内容を決定
- ・地域の皆さまが完成した空間を『**広見憩いの杜**』と命名

【高度処理水の多目的利用】

- ・熱源利用は**民間事業者との協働**により実施するとともに、修景用水、運河水質改善利用は**まちづくり部局や運河管理者との連携**により実施

空間利用のテーマ『水と緑の日常』

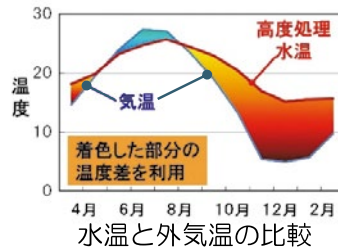
- ・ 日常の中で、水と緑の広がりを感じられ、中川運河につながる開かれた空間の創出
- ・ 地域の歴史をつなぎ、都心部における憩いとなる場の創出



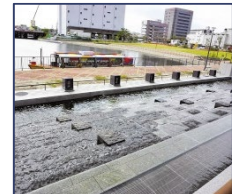
高度処理水の多目的利用



①処理水の熱を地域冷暖房の熱源に利用(約30,000m³/日)



②親水空間における修景用水に利用(約30,000m³/日のうち約5,000m³/日)



③運河の水質改善に利用(約30,000m³/日)

高度処理水を露橋水処理センターから約800m先の中川運河堀止部に還流させることで、閉鎖性の高い堀止部の水循環を促進



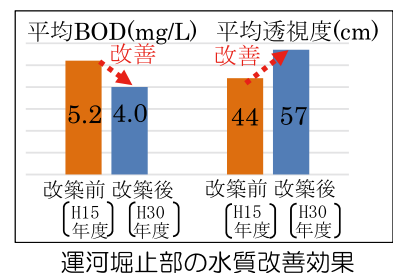
取組の効果！

【広見憩いの杜】

地域の皆さまに愛される**水と緑の起点**となる都市空間を創出

【高度処理水の多目的利用】

- ①**熱源**：一般家庭**約610世帯**分に相当するエネルギーを削減
- ②**修景用水**：魅力スポットとなる**親水空間**の形成に寄与
- ③**運河水質改善**：運河の水質を改善することで**良好な水環境**を創出(右図参照)



運河堀止部の水質改善効果

Key Person



建設部 主幹
河合 克敏

露橋水処理センターは、地域の皆さま・民間事業者・まちづくり部局・運河管理者など様々な方との連携・協働により新しく生まれ変わりました。

改築期間は15年と大変長くなりましたが、特に上部空間の利用では、地域の代表者や有識者からなる検討委員会を設置し、地域の人々と丹念に話し合い、合意形成を図りながら進めたことで、とても良い施設ができたと思います。

この露橋水処理センターが都心部における新たな水と緑の起点となり、地域の皆さまや広く市民の皆さま、名古屋への来訪者の皆さま等多くの人々の憩いの空間として永く親しまれる施設になることを願っています。